

令和 8 年度
第 3 学年

誠 実

中野区立第二中学校
令和8年4月 8日
学年通信 2 号

耐雪梅花麗

3年生の皆さん、改めて進級おめでとうございます。新学期が始まってから数日が経ちましたが、まだまだ慣れない3年生の生活なのかもしれませんね。義務教育最後の1年を迎える皆さんに伝えたいことがたくさんあります。その中から、学年通信2号で何をテーマにするかを考えていた日曜日、ふと思い出したことがありました。

2016年9月10日土曜日、残暑も厳しい昼過ぎ、東京ドームに向かう電車の中にいた。はやる気持ちを抑えながらも、興奮で額に汗がにじむ。赤いタオルで汗を拭い、もう一度タオルを広げる。笑みがこぼれる。

京王線で新宿に向かい、乗り換えて水道橋で下車する。新宿の時点で広島東洋カープのユニホームを着た人を見かける。しかも複数。その時点で非日常を感じる。東京のど真ん中、ここでカープのユニホームを着た人を見ることはとても珍しい。

総武線で水道橋に向かう道中では、視界のなかに確実に赤いユニホームを捉えている。33番菊池涼介選手～韋駄天菊池♪～25番新井貴浩選手～空を打ち抜く大アーチ♪～…自然とそれぞれの応援歌を口ずさむ。この年、広島カープは快進撃を続け、夏ごろから独走状態に入っていた。マジック1で迎えたジャイアンツとの試合。この試合に勝てば25年ぶりのリーグ優勝が決まる。ファンとしてはプロ野球のすべてが充実しており、毎日見る順位表は輝いて見えた。

興奮も期待も最高潮に高まったこの日、先発するのは黒田博樹選手。前年、メジャーでの多額の契約更新を断り、古巣広島東洋カープに復帰したレジェンドである。それもあってか、この日は黒田選手のユニホームが圧倒的に多い。(ちなみに次に多いのは“神ってる”で大きな話題になった鈴木誠也選手のユニホームであった。)

この年、黒田選手は先発の3本柱として活躍し、25年ぶりのリーグ優勝に向けてチーム

に大きく貢献していた。現役バリバリのメジャーリーガーが日本球界に復帰し、古巣カープの一員としてリーグ優勝を迎える。このサクセスストーリーを迎える前には途方もないほどの時間、我慢していた時代があったことをファンは実感している。

前をあるく男性が着ている黒田選手のユニホームには「耐雪梅花麗」と刺繍がされていた。黒田選手の座右の銘である。感極まり、赤い帽子を被り直す。黒田選手…

黒田選手は大学を卒業してドラフト2位で広島カープに入団した。1年目から先発投手として活躍し、3年目にはチームの中心として欠かせない存在となる。そこから先発投手としての勝ち星を重ねるものの、チームは低迷。セリーグの6球団の中でほとんどの年を4位以下で過ごすことになる。通称『チームの暗黒期』である。その中でも光る存在が黒田選手であった。FA権(どのチームとも契約できる権利)が得られた際には「国内であれば広島に残留する」とチームに対する真摯な姿勢を保つ。そして翌年、アメリカのメジャーリーグに挑戦し、ロサンゼルス・ドジャースやニューヨーク・ヤンキースなどで先発投手として活躍した。

ニューヨーク・ヤンキースのミーティングでは、「耐雪梅花麗(読み:雪に耐えて梅花麗し)」を紹介した。これは、西郷隆盛が読んだ漢詩の一部である。黒田選手はこの言葉を高校時代から座右の銘としていたと言われている。ミーティングの中では、「梅の花は、寒い冬を耐え忍ぶことで、春になれば一番麗しく咲く」という意味を紹介し、野球に置き換え、「苦しまずして栄光なし。良い時も悪い時も、常に変わらず汗を流し続けることが大切で、頑張れば必ずその報いがある」と説明した。その言葉は広くチームメイトの心を打ったのである。

2014年12月、ヤンキースの超高額オファーを蹴り、8年ぶりに古巣広島カープに復帰した黒田選手。この復帰は広島への強い愛情と「戻るならカープ」という約束を果たし、男気復帰と呼ばれるようになる。

そんなことを思い出していたら、東京ドームについた。黒田選手の広島復帰から約2年、25年という長い低迷を耐えリーグ制覇を目前に控えたこの日、先発ピッチャーが黒田投手と決まるとユニホームは飛ぶように売れた。東京ドーム前のチームストアですら黒田選手のユニホームは完売。仕事後に八王子から黒田選手のユニホームを着

てきた私を感じる若干の優越感。

試合開始を目前にして東京ドームの周辺はカープファンに溢れていた。こんな光景を東京で見たことがないほど、カープファンが押し寄せていた。私は、その様子をスマホの写真に収め足早に帰路に着く。

東京の23区外に住む私は、ホームに来た電車で飛び乗り、最短距離で自宅へ向かう。その道中もカープのユニホームを着た大勢の人とすれ違った。地元に着き、自転車を漕ぐこと10分強、ようやく家にたどり着く。試合開始まで15分を切っている。準備を整えテレビを点ける。舞台は東京ドーム。先ほどまでいたあの場所でナインが躍動する。ダイヤモンドの中心には背番号15。黒田博樹選手の姿。いつものように丁寧に投球を続ける。時に闘志をむき出し、チームに勇気を与える。

母が帰ってきて、その後に大の巨人ファンの父が帰宅する。帰宅するなり、「今日、東京ドームに行くって言ってなかった?」と聞かれる。「行ってきた。けど、チケット取れてないから、間に合うように急いで帰ってきた」と私。「…ファンの鑑だねえ」と父。「今年はカープが優勝したとしても来年はうち(巨人)が取るから」と続ける。この感覚はカープファンになって初めてであった。「いや、ここからカープが10連覇する」と答える。

その日、巨人に勝利し、優勝が決まるとマウンド付近に歓喜の輪ができた。その中で涙を流す黒田選手の姿があった。途方もないほど長いトンネルを抜け、広島に光が射したその年、日本シリーズをもって黒田選手は引退した。

球団は黒田選手の活躍を称え、15番を永久欠番とした。「耐雪梅花麗」…黒田選手の座右の銘は、黒田選手のチームファーストの精神と共に引退してもなおチームに生き付いているのである。

人間は誰でも光の当たるときがあれば、影が落ちるときもあります。その影の場でどのような心もちでどのような行動をとるかはとても重要です。ここから1年間、学校を中心として活躍し順風満帆なこともあれば、我慢が長く続くこともあるかもしれません。それでも努力は自分のペースで続けましょう。その努力はどのような形であれ必ずみなさんの力になります。忍耐力をもって凌ぎ切ったその先に、必ず綺麗な花が咲くと信じて、一緒に前向きに過ごしましょう。「耐雪梅花麗」どこかで思い出してみてください。

【今後の予定】

□ 4月9日(木)

クラス	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
A組	学活	学活	学活	学活	学活	
B組	個人目標	委員会決	係決め	作文	学級目標	
C組						

放課後:新入生歓迎会リハーサル

□ 4月10日(金)

クラス	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
A組	道徳	国語	理科	数学	新入生歓迎会	
B組	道徳	理科	数学	国語		
C組	道徳	数学	国語	理科		

新入生歓迎会で使用するユニホームや道具等を忘れないようにしましょう

□ 4月13日(月)

クラス	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
A組	数学	理科	英語	数学	国語	技術
B組	数学	数学	理科	英語	体育	国語
C組	数学	体育	国語	理科	英語	数学

※14日以降の時間割は後日、担任の先生から連絡があります。

【保護者の皆さま】 

年度当初の提出物へのご協力ありがとうございました。今年度は入試・受験を控える3年生ということもあり、学年とご家庭の間で書類や連絡のやりとりを多くさせていただくこととなります。お気づきの点等ありましたら、些細なことでも構いませんので学年に連絡を頂ければと思います。今後よろしくお願いいたします。